

【コロナ対応新ビジネスモデル補助金事務局提出用】

事業終了日から起算して30日を経過した日、
または令和4年1月11日のいずれか早い日を
記入してください。

(様式第8)

令和 3年 12月 25日

愛媛県商工会連合会会長 殿

住 所 愛媛県〇〇市〇〇町1丁目2番3号
名 称 株式会社 新ビジネスモデル
代表者の役職・氏名 代表取締役 愛媛 太郎 印

コロナ対応新ビジネスモデル補助金に係る
補助事業実績報告書

コロナ対応新ビジネスモデル補助金交付規程第16条第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 補助事業名 (補助金交付決定通知書の日付を記載のこと。)
コロナ対応新ビジネスモデル補助金事業
(令和3年7月2日交付決定 (第1回受付締切分))

2. 事業期間

開始 令和 3年 7月 2日
終了 令和 3年 12月 20日

事業が完了した日を記入してください。(全ての補助対象経費の支払は事業完了日以前となります。)

3. 実施した補助事業の概要

(1) 事業者名

株式会社 新ビジネスモデル

(2) 事業名

テイクアウト向け〇〇商品の開発と販売展開

経営計画書に記載した事業名
を記入してください。

(3) 事業の具体的な取組内容

- ①原材料の××を〇月〇日に購入し、冷めても旨味が衰えないよう試作を重ね、テイクアウト向け〇〇を開発した。
- ②テイクアウトに関するチラシを500枚作成し、〇月〇日から〇月〇日にかけて店頭で配布して周知を図った。
- ③テイクアウト向け〇〇のカラー画像を載せた看板を店舗横に〇月〇日設置し、新商品の周知を図った。
- ④テイクアウト商品受け渡し時での3密を避けるため、〇月〇日から〇月〇日にかけて店舗のレジコーナー周りを改装した。

(4) 事業経費の状況

- ・支出内訳書 (別紙3)

(5) 本補助事業がもたらす成果、効果等

新たな商品が提供でき、既存顧客及び近隣住民等へのテイクアウトサービスの周知が図られるとともに、商品引き渡し時での3密回避も可能になった。電話での問い合わせが週〇件程度あり、毎月〇万円程度の売り上げ増加を見込んでいる。

定量的な効果等を含めて記入してください。

(6) 本補助事業の推進にあたっての改善点、意見等

アフターコロナを見据えた新たなビジネス展開の必要性を感じていたところであり、本補助金事業をきっかけとして実現できた。